

# 日本各地の博物館87館を見学して (2023)

板垣 光星\*

## 1 はじめに

本稿は、筆者が2023年の1年間に見学した博物館について紹介するものである。日本には約5,700の博物館がある<sup>1)</sup>と言われているが、筆者は1年間で87館を見学することができた。その経過を報告するとともに、今後の茅ヶ崎市博物館での調査研究・教育普及・資料収集等の博物館活動の参考にできればと考え、記録としてまとめたものである。

## 2 見学した博物館の概要

本稿で対象とした博物館は、博物館法の「博物館とは、歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料を収集し、保管（育成を含む。以下同じ）し、展示して教育的配慮の下に一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、併せてこれらの資料に関する調査研究をすることを目的とする機関（後略）。（昭和26（1951）年制定、令和4（2022）年改正）」の定義にもとづく。また、それ以外に展示設備を有する施設についても、今回博物館とみなし、本稿の対象とした。ただし神社仏閣（宝物館・殿は除く）や城跡、史跡等の展示設備を有しない場所は対象外とした。

2023年1月1日から12月31日に見学した博物館は、13都府県で87館であった。なお、2023年5月18日に茅ヶ崎市博物館で筆者が講師を務めた博物館講座「学芸員が見た！日本の博物館見学レポート」では、86館を見学したと紹介したが、本稿執筆にあたって改めて記録を確認すると87館であった。

都府県の順番は、総務省が考案した「全国地方公共団体コード」<sup>2)</sup>の順番によった。また、各都府県内での博物館の順番は、その都府県に博物館協会・協議会等があればそのホームページ上の加盟館のリストの順番を参照し、無ければ公益財団法人日本博物館協会<sup>3)</sup>のホームページ上の加盟館のリストの順番を参照した。該当しない館はその後ろに五十音順で並べた（末尾に「※」を表記した）。

[ ] 内の日付はその博物館を見学した日付である。

### (1) 栃木県 計9館（うち栃木県博物館協会<sup>4)</sup> 加盟館は8館）

1. 那須歴史探訪館：那須郡那須町大字芦野2893 [11月7日]
2. 那須野が原博物館：那須塩原市三島5-1 [11月7日]
3. 那珂川町なす風土記の丘資料館：那珂川町小川3789 [11月5日]
4. 那珂川町郷土資料館：那須郡那珂川町馬頭116-5 [11月5日]
5. 栃木県なかがわ水遊園：大田原市佐良土2686 [11月5日]
6. さくら市ミュージアム－荒井寛方記念館－：さくら市氏家1297 [11月5日]
7. 那珂川町馬頭広重美術館：那須郡那珂川町馬頭116-9 [11月5日]
8. 栃木県立日光自然博物館：日光市中宮祠2480-1 [11月6日]
9. 日本両棲類研究所：日光市中宮祠2484 [11月6日] ※

### (2) 群馬県 計4館（うち群馬県博物館連絡協議会<sup>5)</sup> 加盟館は2館）

10. 群馬県立近代美術館：高崎市綿貫町992-1 [3月19日]
11. 群馬県立自然史博物館：富岡市上黒岩1674-1 [3月19日]
12. 伊香保おもちゃと人形自動車博物館：北群馬郡吉岡町上野田2145 [3月20日] ※
13. 群馬県立榛名公園ビジターセンター：高崎市榛名湖町845 [3月20日] ※

**(3) 千葉県 計6館 (うち千葉県博物館協会<sup>6)</sup> 加盟館は4館)**

14. 山武市歴史民俗資料館：山武市殿台343-2 [9月14日]
15. 千葉県立中央博物館：千葉市中央区青葉町955-2 [11月15日]
16. 千葉市科学館：千葉市中央区中央4-5-1 複合施設「Qiball (きぼーる)」内7階から10階 [11月15日]
17. 千葉市立郷土博物館：千葉市中央区亥鼻1-6-1 [11月15日]
18. いわし資料館：山武郡九十九里町小関2347-98 [9月14日] ※
19. 白子町歴史民俗資料室：長生郡白子町関92 [9月14日] ※

**(4) 東京都 計14館 (うち公益財団法人日本博物館協会加盟館は3館)**

20. 国立新美術館：港区六本木7-22-2 [10月2日]
21. 東京国立博物館：台東区上野公園13-9 [11月21日]
22. 東京都美術館：台東区上野公園8-36 [11月21日]
23. 伊豆大島火山博物館：大島町元町神田屋敷617 [9月26日] ※ (2024年3月16日にリニューアルのため閉館)
24. 大島町貝の博物館ばれ・らめーる：大島町差木地字クダッチ(大島町勤労福祉会館内) [9月25日] ※
25. 大島町郷土資料館：大島町元町地の岡30-5 [9月26日] ※
26. 大島農民美術資料館：大島町元町2-1-5 [9月26日] ※
27. 岡本太郎記念館：港区南青山6-1-19 [10月2日] ※
28. 踊り子の里資料館：大島町波浮港1 [9月25日] ※
29. 東京都立大島公園椿園・椿資料館：大島町泉津字福重2 [9月25日] ※
30. 東京都立大島公園動物園：大島町泉津字福重2 [9月25日] ※
31. 白marunouchi：千代田区丸の内3-3-1新東京ビル1階紫野和久傳内 [11月21日] ※
32. 物流博物館：港区高輪4-7-15 [10月29日] ※
33. ヤンマー米ギャラリー：中央区八重洲2-1-1「YANMAR TOKYO」1階 [11月21日] ※

**(5) 神奈川県 計29館 (うち神奈川県博物館協会<sup>7)</sup> 加盟館は24館)**

34. 横浜みなと博物館：横浜市西区みなとみらい2-1-1 [12月28日]
35. 日本郵船歴史博物館：横浜市中区海岸通3-9 [2月26日]
36. 神奈川県立歴史博物館：横浜市中区南仲通5-60 [9月18日]
37. 神奈川県立神奈川近代文学館：横浜市中区山手町110 [9月18日]
38. 横浜市歴史博物館：横浜市都筑区中川中央1-18-1 [2月25日]
39. よこはま動物園ズーラシア：横浜市旭区上白根町1175-1 [1月2日]
40. かわさき宙と緑の科学館：川崎市多摩区枳形7-1-2 [12月17日]
41. 川崎市岡本太郎美術館：川崎市多摩区枳形7-1-5 [5月7日、8月19日、12月17日]
42. 鎌倉国宝館：鎌倉市雪ノ下2-1-1 [3月10日、8月18日]
43. 鎌倉歴史文化交流館：鎌倉市扇ガ谷1-5-1 [3月10日、8月18日]
44. 新江ノ島水族館：藤沢市片瀬海岸2-19-1 [4月10日、4月14日、5月21日、9月19日、11月27日、12月18日]
45. 平塚市博物館：平塚市浅間町12-41 [8月30日]
46. 小田原市郷土文化館：小田原市城内7-8 [11月13日]
47. 神奈川県立生命の星・地球博物館：小田原市入生田499 [3月12日、10月22日]
48. 箱根町立郷土資料館：足柄下郡箱根町湯本266 [9月2日、11月13日]
49. 彫刻の森美術館：足柄下郡箱根町二ノ平1121 [9月2日]
50. 箱根美術館：足柄下郡箱根町強羅1300 [11月30日]
51. 箱根神社宝物殿：足柄下郡箱根町元箱根80-1 [11月20日]
52. 小田原城：小田原市城内6-1 [11月13日]
53. 箱根写真美術館：足柄下郡箱根町強羅1300-432 [2月12日]
54. 海老名市立郷土資料館海老名市温故館：海老名市国分南1-6-36 [11月14日]
55. あつぎ郷土博物館：厚木市下川入1366-4 [9月11日]
56. 相模川ふれあい科学館アクアリウムさがみはら：相模原市中央区水郷田名1-5-1 [8月21日]
57. 相模原市立博物館：相模原市中央区高根3-1-15 [10月3日]
58. 川崎市大山街道ふるさと館：川崎市高津区溝口3-13-3 [8月19日] ※
59. 環境省箱根ビジターセンター：足柄下郡箱根町元箱根164 [9月2日] ※
60. 箱根ガラスの森美術館：足柄下郡箱根町仙石原940-48 [11月20日] ※
61. 箱根旧街道休憩所・資料館：足柄下郡箱根町畑宿395 [11月30日] ※
62. 横須賀美術館：横須賀市鴨居4-1 [10月16日] ※

**(6) 富山県 計5館 (うち富山県博物館協会<sup>8)</sup> 加盟館は5館)**

63. 魚津水族館：魚津市三ヶ1390 [8月28日]
64. 魚津埋没林博物館：魚津市釈迦堂814 [8月28日]

65. 富山県立山カルデラ砂防博物館：中新川郡立山町芦峯寺字ブナ坂68 [8月29日]  
 66. 富山県 [立山博物館]：中新川郡立山町芦峯寺93-1 [8月29日]  
 67. 富山市科学博物館：富山市西中野町1-8-31 [8月29日]

**(7) 長野県 計1館 (うち長野県博物館協会<sup>9)</sup> 加盟館は1館)**

68. 軽井沢町歴史民俗資料館：北佐久郡軽井沢町長倉2112-101 [5月16日]

**(8) 静岡県 計2館 (うち静岡県博物館協会<sup>10)</sup> 加盟館は0館)**

69. 熱海秘宝館：熱海市和田浜南町8-15 [12月25日] ※  
 70. 熱海山口美術館：熱海市渚町24-1 [9月24日、12月25日] ※

**(9) 愛知県 計5館 (うち愛知県博物館協会<sup>11)</sup> 加盟館は2館)**

71. 愛知県美術館：名古屋市東区東桜1-13-2 [1月29日]  
 72. トヨタ博物館：長久手市横道41-100 [1月28日]  
 73. 愛・地球博記念館：長久手市茨ヶ廻間乙1533-1 愛・地球博記念公園(モリコロパーク)内 [1月28日] ※  
 74. 名古屋大学博物館：名古屋市千種区不老町 [1月28日] ※  
 75. 松坂屋史料室：名古屋市中区栄3-16-1松坂屋名古屋店南館7階 [1月29日] ※

**(10) 滋賀県 計4館 (うち滋賀県博物館協会<sup>12)</sup> 加盟館は4館)**

76. 滋賀県立琵琶湖博物館：草津市下物町1091 [10月10日]  
 77. 佐川美術館：守山市水保町北川2891 [10月11日]  
 78. 野洲市歴史民俗博物館(銅鐸博物館)：野洲市辻町57-1 [10月11日]  
 79. 滋賀県立陶芸の森陶芸館(陶芸美術館)：甲賀市信楽町勅旨2188-7 [10月11日]

**(11) 京都府 計1館 (うち京都府ミュージアムフォーラム<sup>13)</sup> 加盟館は0館)**

80. 大谷大学博物館：京都市北区小山上総町響流館1階 [10月10日] ※

**(12) 兵庫県 計4館 (うち兵庫県博物館協会<sup>14)</sup> 加盟館は3館)**

81. 沢の鶴資料館：神戸市灘区大石南町1-29-1 [4月30日]  
 82. 神戸市立博物館：神戸市中央区京町24 [4月30日]  
 83. 竹中大工道具館：神戸市中央区熊内町7-5-1 [4月30日]  
 84. 横尾忠則現代美術館：神戸市灘区原田通3-8-30 [4月30日] ※

**(13) 沖縄県 計3館 (うち沖縄県博物館協会<sup>15)</sup> 加盟館は2館)**

85. 首里城公園：那覇市首里金城町1-2 [7月2日]  
 86. 宮古島市総合博物館：宮古島市平良字東仲宗根添1166-287 [7月4日]  
 87. 宮古島地下ダム資料館：宮古島市城辺字福里1645-8 [7月4日] ※

### 3 博物館を見学した目的等

神奈川県博物館協会の研修会に出席した際に見学した相模原市立博物館を除き、86館は業務以外で見学をした。それぞれの博物館を見学した理由は様々ではあるが、主に個人旅行で訪れた際に、目的とした場所の付近にあった博物館を見学したことによる。

見学した博物館で神奈川県内の数が一番多いのは、自宅から比較的近いということもあるが、理由の一つとして神奈川県博物館協会が2023年に「神奈川震災100年プロジェクト」を開催したこと

にもよる。これは1923年9月1日に発生した関東大震災(大正関東地震)から100年の節目の年であることから開催された事業である。神奈川県博物館協会加盟の21館が関東大震災をテーマとした企画展を行い、茅ヶ崎市博物館では8月29日から10月31日の期間でパネル展「関東大震災100年—写真とこと



図1. パネル展「関東大震災100年—写真とことばで知る茅ヶ崎の関東大震災」

ばで知る茅ヶ崎の関東大震災」を市民交流スペースで開催した。神奈川県立歴史博物館、鎌倉国宝館、箱根町立郷土資料館、あつぎ郷土博物館、相模原市立博物館を見学したのはこの事業によるものである。

他の理由として多いのは、企画展を見学するためである。企画展は常設展とは異なり、その会期中に行かないと見る事ができない展示である。例えば滋賀県にある滋賀県立琵琶湖博物館では7月15日から11月19日の期間で「第31回企画展示 おこめ展—おこめがつなぐ私たちの暮らしと自然—」を開催した。これは、今後茅ヶ崎市博物館で稲作やお米をテーマとした企画展を開催する際の参考になればと考えたためである。また、兵庫県にある竹中大工道具館では3月4日から5月7日の期間で「イサム・ノグチ TOOLS」を開催した。イサム・ノグチは少年期に茅ヶ崎に住んでいたこともある20世紀を代表する芸術家である。そのイサム・ノグチが実際に使った鋸などの道具が展示されたが、それらはニューヨークにある美術館から借用したものであり、日本で展示する機会も少ないと思われるため兵庫県まで日帰りで出向いた。

上記の理由で見学した博物館から距離が近い場所にある博物館を積極的に見学したため、1年間で87の博物館を見学することができた。どのようにそれらの博物館を探したかは、次の「4 博物館の探し方」で述べる。なお、筆者は茅ヶ崎市博物館で自然担当の学芸員であるため、自然系の展示がある博物館を中心に見学した。

#### 4 博物館の探し方

主にインターネットを使って探した。日本国内の博物館の情報共有や発展などを目的とした「公益財団法人日本博物館協会」という組織がある。茅ヶ崎市博物館も加盟館であるが、全国で約1,100館の博物館が加盟し、地域や分野を絞って検索することができる。また、各県には「博物館協会」や「博物館協議会」といった名前の付く組織が存在する。各協会・協議会のホームページには加盟館の一覧があり、そこから目的とした博物館の周辺にある博物館を探すことができる。ただ、筆者が調べた限り、東京都には無かった。

次にグーグルマップを使った方法である。目的地付近の地図を表示した状態で検索欄に「博物館」と入力すれば、地図から直感的に博物館を探すことができる。また、スマートフォン等で検索する際は位置情報と紐づけることで、現在自分のいる場所の周辺にある博物館を検索することができる。ただし、場所によっては「博物館」と検索

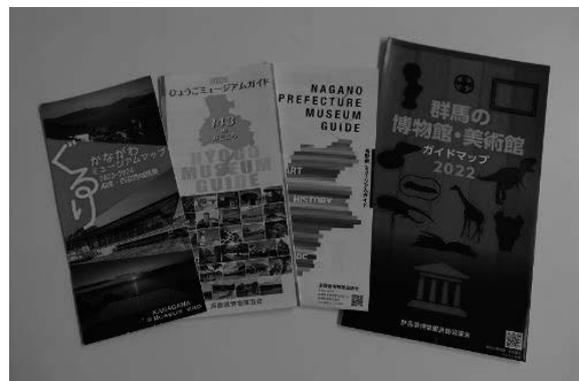


図2. 各博物館協会等が発行している博物館一覧の一例



図3. 茅ヶ崎市博物館でのチラシの配架の様子

すると、碑、史跡、社寺など博物館ではない施設も該当する場合がある他、個人の自宅等を「博物館」として地図に登録していることもあるため、正確に博物館の情報を得られないこともある。

最後に、各博物館で配布しているチラシや掲示しているポスターから情報を得る方法である。基本的にどの博物館にも他館のチラシを配架しポスターを掲示しているが、企画展の内容、場所、関連イベントなどの情報が一目で分かり、チラシの場合は持ち帰ることができるため、インターネットにはない魅力もある。

## 5 博物館講座「学芸員が見た！日本の博物館見学レポート」を開催して

2024年5月18日に茅ヶ崎市博物館の博物館講座で、本論で述べた内容を紹介した。事前にインターネットを中心とした広報活動を行い、17名の参加者が集まった。開催に至った経緯は、ある別の講座で講師を務めた際に、自己紹介の中で自分の趣味として博物館を見学することを挙げ、1年間で86の博物館を見学したと紹介した。それを聞いた受講生の方から、「もう少し詳しくその話を聞きたい」との声があったため、そのことを博物館講座で開催すると決めた。



図4. 博物館講座開催の様子（2024年5月18日）

もう一つの理由としては、5月18日は国際博物館会議（ICOM）が「国際博物館の日」と制定していることにもよる。この日は日本各地の博物館で入館料無料や各種イベントが開催されるが、茅ヶ崎市博物館もその趣旨に賛同して開催に至った。

講座の内容は、最初に5月18日は「国際博物館の日」であることや、茅ヶ崎と同様に国史跡の官衙遺跡群がある川崎市高津区で、同日に開催した「橘樹歴史公園オープン記念式典」に参加した知人から送られてきた写真を速報的に紹介した。その後は、主に筆者が撮影した写真を見ながら、それぞれの博物館の展示の特徴や面白いと思った箇所を紹介し、茅ヶ崎市博物館との共通点や相違点などを説明した。途中で、本稿で述べた「3 博物館を見学した目的等」や「4 博物館の探し方」などを紹介した。

参加者からのアンケートの回答として「色々な博物館を知ることができてよかった」といった意見から「見学で得られた知見をこの博物館で活用した実例を知りたい」などの意見をいただいた。

## 6 博物館87館を見学して気が付いた点・課題等

まず、効率的に多くの博物館を見学するためには、事前に博物館の情報を十分に調べておく必要がある。博物館の探し方については、「4 博物館の探し方」で述べた。特に、休館日を事前に確認しておくことが重要である。「博物館は月曜日が休館日である」という先入観からホームページ等をチェックせずに行くと、水曜日などの他の曜日が休館日であることや、展示替えて臨時休館などもあり、博物館の目の前まで行って休館していたということもあった。1日で見学する博物館の数は、その展示の規模にもよるが3館程度を目安に見学することをお勧めする。筆者は11月5日に栃木県内の博

博物館を5館（同年内最多）見学したが、1館当たりの見学時間が短くなることや、後半は体力的にも落ちてくるため、展示の細かい解説まで読むことができない。後日展示や解説を確認するために、展示の撮影や、配布資料の持ち帰りと図録等の購入をできるだけ行った。

写真撮影に関しては撮影禁止の場所もあるが、最近はSNSの普及などにより、条件付きで撮影が可能な博物館も増えている。ある博物館の学芸員に聞いた話ではあるが、「なぜ貴館では館内撮影禁止なのか？」と聞くと、「ある特定の資料に関して、資料の持ち主から承諾を得られていないため、館内全面撮影禁止に至った」との回答を得られた。

博物館への移動には自家用車が多いが、距離によっては新幹線や飛行機を使うため、現地到着後レンタカーを借りて移動することもあった。東京都23区内や、兵庫県神戸市内など鉄道が発達している地域では、自動車が無くても不自由なく移動できるが、伊豆大島や宮古島など離島ではどうしても公共交通機関が少ないため、地域によっては自動車での移動が不可欠となる。

博物館によっては、見学した時に来館者が筆者のみの時や、他に数人だけのところも多くあった。ある博物館に行った際は、企画展は博物館の外にまで行列が伸びており、入館まで数十分待ちとなっているほど多くの来館者がいたが、常設展示には私しか見学している人がいない時があった。魅力的な企画展は普段博物館に行かない人にも来館のきっかけとなるが、その地域の歴史や自然に触れることができる常設展示への誘導につなげる工夫をすることも必要であると感じた。

個人的なことではあるが、1年間で87館の博物館を見学したため、休日のほとんどと、交通費や入館料などのお金を費やすこととなった。基本的には自分の趣味で博物館を見学しているため、それを業務として見学することは難しい。

## 7 今後について

1年間で87館の博物館を見学したが、そこで見た展示手法やワークショップの内容などは今後の茅ヶ崎市博物館での活動の参考になった。ただ「**5 博物館講座「学芸員が見た！日本の博物館見学レポート」を開催して**」で紹介したように、参加者のアンケートに「見学で得られた知見をこの博物館で活用した実例を知りたい」という意見はあっても、すぐに茅ヶ崎市博物館の展示やイベントに反映させることは難しい。それは、常設展（茅ヶ崎市博物館では基本展示という）は開館時にその博物館のコンセプトを強く意識して設営した展示であるため、簡単には変更できない。そのため、常設展ではなく、企画展や特集展示など、これから新たに作ることでできる展示に向けて、今まで見学してきた博物館を参考に考えていきたい。

## 8 最後に

2024年の1年間では2023年よりも1館多い88館の博物館を見学することができた。海外の博物館も数館見学できたため、もし機会があれば茅ヶ崎市博物館で開催する博物館講座や茅ヶ崎市博物館研究紀要などで紹介したい。

## 参考文献等

- 1) 文化庁：博物館総合サイト, <https://museum.bunka.go.jp/> 2025年1月17日最終閲覧.
- 2) 法務省：全国地方公共団体コード, <https://www.soumu.go.jp/denshijiti/code.html> 2025年1月17日最終閲覧.

- 3) 公益財団法人日本博物館協会：会員館紹介, <https://www.j-muse.or.jp/introduction/> 2025年1月17日最終閲覧.
- 4) 栃木県博物館協会：加盟館一覧, <https://tochihaku.com/member/> 2025年1月17日最終閲覧.
- 5) 群馬県博物館連絡協議会：群馬の博物館・美術館をかんたん検索 加盟館検索, <https://www.gunpaku.com/search/> 2025年1月17日最終閲覧.
- 6) 千葉県博物館協会：ちばの博物館 博物館を一覧から探す (五十音順), <https://chibahaku.skr.jp/hp/index.php/http-chibahaku-skr-jp-hp-search/http-chibahaku-skr-jp-hp-seach-list> 2025年1月17日最終閲覧.
- 7) 神奈川県博物館協会：神奈川県博物館協会 加入館園一覧, <http://kanagawa-kenpakukyo.server-shared.com/newhp/kameikanen.html> 2025年1月17日最終閲覧.
- 8) 富山県博物館協会：加盟館を50音から探す, <http://museums.toyamaken.jp/kana/> 2025年1月17日最終閲覧.
- 9) 長野県博物館協議会：信州ミュージアムガイド 博物館一覧, <https://www.nagano-museum.com/info/exhibit.php> 2025年1月17日最終閲覧.
- 10) 静岡県博物館協会：しずはく.net 博物館を探す, <https://www.shizuhaku.net/museum/> 2025年1月17日最終閲覧.
- 11) 愛知県博物館協会：加盟館データ, <https://www.aichi-museum.jp/info/index.html> 2025年1月17日最終閲覧.
- 12) 滋賀県博物館協議会：しが県博協 加盟館名簿, <https://sam.shiga.jp/加盟館名簿-2/> 2025年1月17日最終閲覧.
- 13) 京都府ミュージアムフォーラム：ミュージアムマップ, <https://museumforum.pref.kyoto.lg.jp/museum-map/> 2025年1月17日最終閲覧.
- 14) 兵庫県博物館協会：ひょうごミュージアムガイド エリア別施設一覧, [https://www2.hyogo-c.ed.jp/weblog2/museum-ac/?post\\_type=facility&user\\_prefix=001](https://www2.hyogo-c.ed.jp/weblog2/museum-ac/?post_type=facility&user_prefix=001) 2025年1月17日最終閲覧.
- 15) 沖縄県博物館協会：加盟館紹介, <https://okihakkyo.com/members> 2025年1月17日最終閲覧.

\* 茅ヶ崎市博物館学芸員



図5. リニューアル工事前の伊豆大島火山博物館 (東京都大島町)



図6. 日本に現存する水族館の中で最も歴史が古い魚津水族館 (富山県魚津市)



図7. 軽井沢町歴史民俗資料館 (長野県北佐久郡軽井沢町)



図8. 「おこめ展—おこめがつなぐ私たちの暮らしと自然—」を開催した滋賀県立琵琶湖博物館 (滋賀県草津市)



図 9. 「イサム・ノグチ TOOLS」を開催した竹中  
大工道具館（兵庫県神戸市）



図 10. 宮古島市総合博物館（沖縄県宮古島市）

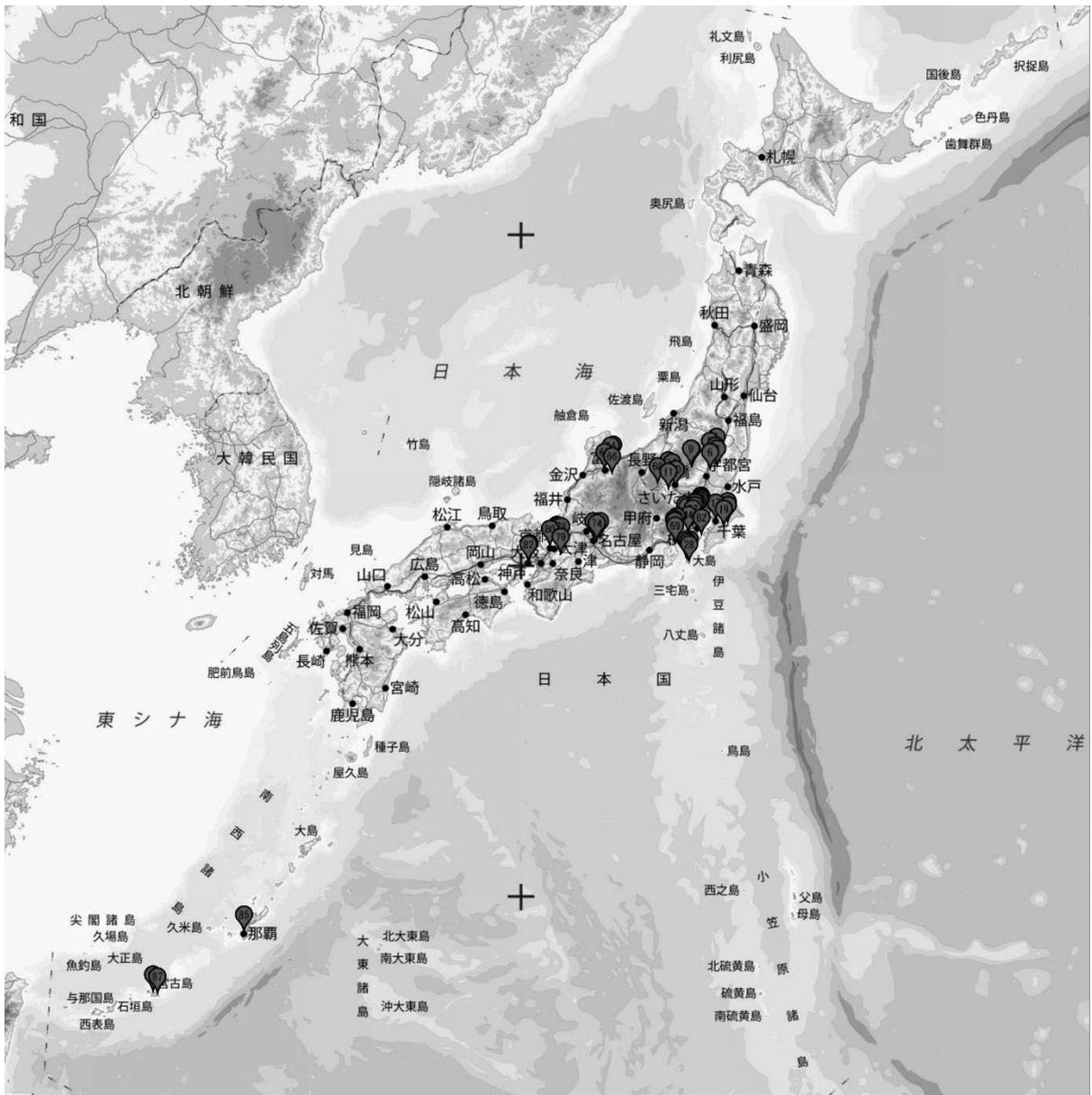


図 11. 見学した博物館の位置について（数字は **2 見学した博物館の概要** で述べた番号）  
「国土地理院 地理院地図（電子国土 Web）の標準地図を加工して作成」